

## 流産・死産、心のケア普及 「一人一人接し方考えて」 岡山大・中塚幹也教授に聞く /香川

暮らし・学び・医療 | 家族・子育て | 香川

毎日新聞 | 2021/10/16 地方版  有料記事 1354文字

10月9～15日は死産や流産で亡くなった赤ちゃんを思う国際的な啓発週間だったが、当事者に対する社会の支援体制は十分整っていない。岡山大病院（岡山市）で医師や看護師向けに対応の手引動画を作成するなど、グリーフ（悲嘆）ケアの普及に取り組む同大大学院保健学研究科の中塚幹也教授（60）に、どのようなケアが求められるのが聞いた。【聞き手・西本紗保美】